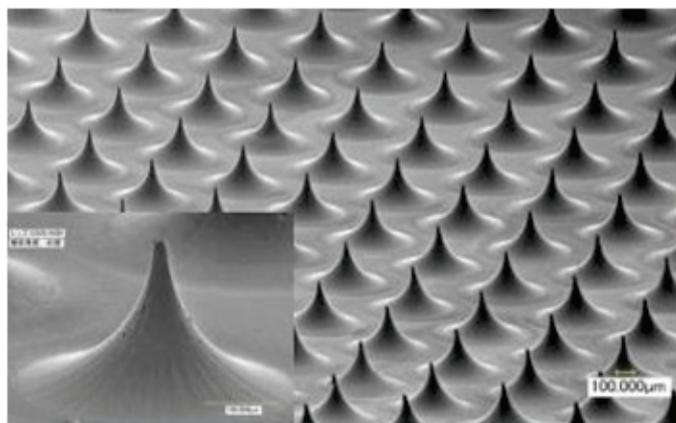


コスメディ製薬株式会社

～世界初の製品を生み出した京都発ベンチャー企業～

担当課室：バイオ・医療機器技術振興課

コスメディ製薬株式会社は、2001年に設立された京都薬科大学発のベンチャー企業です。既存の薬・化粧品をより効率的に使えるように、“皮膚から直接成分を入れる”TTS（経皮送達システム；Transdermal Therapeutic System）技術を基盤とした経皮吸収型医薬品・化粧品等を開発しています。当該分野で4、5年前から世界シェア NO.1を維持し続けている同社は、今秋から自社ブランド製品の販売も開始しており、売上はまさに右肩上がり。そんな同社の目指すところとは…？



マイクロニードル製品の走査電顕写真（高さ0.2mm）

【世界初の製品を生み出した技術力】

同社の一番の強みは、超微細加工技術によりヒアルロン酸やコラーゲンなどを結晶化し、数百 μm 程度の針状にしたものを剣山のように配列させる“マイクロニードル（以下、MN）技術”にあります。トロリとしたヒアルロン酸を硬いMNにすることで、さらに肌を傷つけることなく有用な成分を入れることの両方を可能にするこの技術が、皮膚に貼るだけでヒアルロン酸が直接皮膚に浸透・溶解・残留する

る、世界初の生体内溶解型MN化粧品を生み出したのです。手軽かつ顕著な抗シワ効果・美白効果を有する当該製品は、瞬く間に国内外の顧客ニーズを捉えました。

2008年の商品化後、2011年春に株式会社資生堂から医科向けの化粧品として同社製品が発売され、同年11月には当該製品がIFSCC（国際化粧品技術者会連盟）Conference 2011 Bangkokにおいて最優秀賞を受賞しました。さらに、今秋には待望の自社ブランド化粧品“Quanis Dermafiller”の販売もスタートし、売上は右肩上がりです。



自社ブランド化粧品“Quanis Dermafiller”

2011年にインキュベーション（起業家育成）施設「クリエイション・コア京都御車」を卒業後、生産規模拡大のため、経済産業省が実施する設備投資にかかる補助金制度を活用し、本社・工場を新設しましたが、今では、増え続ける注文に、1400㎡の工場でも生産制限をかけるほどとなっています。

【医薬品分野への応用】

また、この MN 技術は医薬分野にも応用されており、現在、大学と糖尿病治療薬などを共同開発中で、インフルエンザワクチンについては人への臨床研究段階まで進んでいます。注射や点滴と比べ接種が簡単で、輸送や保管にコストがかからない経皮ワクチン製剤が市場に出れば、発展途上国でのワクチン普及に貢献出来ます。世界ではワクチンさえあれば予防可能な感染症で多くの人々が亡くなっており、京都発で世界初の医薬品が、世界の人々を救う日も遠くないかもしれません。

【今後の目標】

今後のビジョンについて、神山代表取締役は、「持続性や使い勝手の点で製品改良を重ね、他社が出さない新製品を売り出していく。そして大手企業への OEM だけではなく、自社製品を増やしていくことで海外市場の足場も固めていきたい」と力強く語ってくださいました。

一方で、「財務的・組織的に会社を安定させることが従業員への責任だ。」として、従業員を抱える代表取締役としての堅実さも併せ持っておられました。

顧客や従業員を第一に考え、CSR（企業の社会的責任；Corporate Social Responsibility）の精神を持つ神山代表取締役の企業家精神は、



代表取締役 神山文男氏

きっと製品を通じて世界中へ届く

会社名：コスメディ製薬株式会社
U R L：<http://www.cosmed-pharm.co.jp/>
所在地：京都府京都市南区東九条河西町32
電話番号：075-950-1510